23

日

23 23 日 日

分教会 58 名

[委員 115 出 名 向

大教会 吉川委員長出

業務記録

北陸

5 月

24

【教区学生担当委員長辞令交付】 鈴木陽一 小西祥治 (愛知教区)

足立親信

(筑紫・筑竹)

【直属学生担当委員長辞令交付】

(日光・駒場)

(東京教区)

(島根教区)

澤野直之 (船場・

奥野道治 (大鳥・宰相山)

森田

5 月 16 日

屋外プログラムチー

ム会議

19 日

学生連絡会 事務局連絡会 《立教179年5月16

日

6 月 15

日

《立教179年5月25日付》

本多正悟 (鳥取教区)

髙橋道興 (中和・新澤) 西九條)

23 目 24 日

20 日

25

出版部部会

担当者活動部部会 『Happist』 梱包 『Happist』納品

直属担当者懇談会 広報室会議

例会 教区・直属委員長懇親会

要員育成室会議

26 目

学修高校の部準備会議 HARP勉強会 加藤天平 神岡政生 (本芝・本義高)

髙橋公嗣 當津)

稲森喜豊 (名張・山田郷)

新田幸生

27 日

まなびば研修会

28 日

スタッフ直前研修会

(伊賀生琉里・北生琉里)

(北洋・大毎)

6

月1日

春の学生おぢばがえり

プロジェクトチーム会議

10 日 学生部部会 熊本地震 救援ひのきしん活動

(要員育成室

つくし会

了 12 月

13 屋内プログラムチ

屋外プログラムチ

ム会議 ム会議

担当者活動部部会

15

http://tsa.tenrikyo.or.jp

「まなびば」から、次代を担うようぼくへと

庶務会計部兼人材育成部

松山

プログラ

ねる中で、その男性は四十五年前 尋ねの写真は見つけられなかった 青少年ひのきしんキャンプ)の写 生時代に参加したYHC(天理教 真は残っていないだろうか?」と した。その声の主の男性は、「学 電話でのやり取りを重 残念ながら、 電話がありま 務局に一本の 担当委員会事 先日、学生 お 改めて思い起こしました。 活動方針に「次代を担うようぼく 向けた活動を打ち出されました。 材育成の旬に、 とお示しくださいました。この人 据えて取り組まなければならない」 真柱様は「道の将来を担う人材を において女子青年大会を開催され そして、 また、 青年会では創立百周年に 私たち学生担当者は、 婦人会では各地域

[FAX]0743-62-5780

のだい」へとして育つべく、声をを持ち、「あらきとうりよう・みちぬ人会員・青年会員としての自覚 掛け心を配ることが大切です。 へと丹精しよう」と掲げ、学生が

Gakusei Tantousha Hou

発行/天理教学生担当委員会

[TEL]0743-63-1511 (内線5817) (直通)0743-63-2489

まったご自身の信仰への思いを語 の鮮明な思い出と、YHCから始

られたのが印象的でした。

[E-Mail]tsa@tenrikyo.or.jp [TSA website]http://tsa.tenrikyo.or.jp

のですが、

尋ねられました。

に基づい 催される その中においても、 た「おはなし」が高校生 「まなびば」は、 各教区で開 マ

添えの程を、

どうぞよろしく

「まなびば」へのご理解とお力

学生担当委員会の先生方にも

かせていただきます。

男性との

取りを通して、

格形成に大きな影響を与えると聞

た友人からの影響は、その後

O

青年期の体験や、その時期に得

教祖百三十年祭において 増やす活動に腰を の心に修まるように、

立教179年

平成28年6月25日発行

このお道を通ることに対する信念 るためにも、 と自覚を確立する、その一歩を踏 を得ることができます。 けいただきたいと思います。 十年後の教会を支える人材を育て み出すことでしょう。 ともに、同じ地域の同世代の仲間 教えの素晴らしさを肌で感じると を構成しています。 「まなびば」に参加することで 直接「まなびば」に携わって ぜひ高校生へお声掛 十年後、二 ひいては、

直接携 直属

力をお願いすると共に、

っておられない方々や、

おられる方へは、変わらぬご尽

立教179年 学生担当委員会 活動方針 『次代を担うようぼくへと丹精しよう』

まなびば研修会

親神様のご守護

かしもの・

かりもの~

技場とおやさと周辺を会場に「立教百七十九年

まなびば研修会」を開催(宿舎第十二

五月二十七日から二十八日にかけて、親里競

立教百七十九年

〈屋外〉

まなびば研修会

開催報告

更に深めます

そして、

屋外プログラムのメインであるAct.

とは違う雰囲気の中で、

ープ間の繋が

間の距離を縮めるとともに、

協調性を高め、

フが事前研修会にも出向させていただきます

学生担当委員会のスタ

自然体験を取り入れながらグル

ープ 自

護を頂いて生かされているということを伝える

共に、

ことに特化したプログラムになっています。

まずAct. (アクティビティ)

① S H I N O

深める上でも大変有効なプログラムです。

って実感することができ、

自らの信仰や友情を

いるということに気付き、

日頃絶え間なくご守

自然環境での活動を通して豊かな感性を育むと

身の周りに頂く親神様のご守護を身をも

ない現代の高校生たちが、

日常生活とは離れ

た

然とメンバー同士の繋がりを作ります。

Act. ②

で、

今後とも、

教区の方々には是非とも

「忍術学園卒業検定試験」

では、

日没後、

昼間

外プログラムの積極的なご活用をお願い

学生担当者報

二名が参加しました。 属担当者懇談会を開催し、 去る五月二十五日、 直 属担当者懇談会

第三十八母屋において直

開催報告

百十四直属、

百六十

今日は直属学生担当委員会としてどのように学 だきたい」と挨拶し、その後、 生層の丹精をしていけばいいのかを考えていた ちができることを一歩一歩進めていくために、 てきた課題、その両方の現実を直視して、 学生おぢばがえり大会』を経て得たもの、 最初に、 村庄太郎先生より講話を頂きました。 吉川委員長は「『教祖百三十年祭 南紀大教会長の 私た 見え

費や生活費のためではなく、 めだから、『小遣いのためのバイトを一週間断 とが必要。クラブや、経済的な理由でバイトを 動員について「学修高校の部を受講してもらう に思わしめれば、学修に行ってくれる」と述べ 念してまでも、参加する値打ちがある』と生徒 している学生も多いが、バイトはほとんどは学 には、生徒に一週間から十日を空けてもらうこ 下村先生は、「学生生徒修養会 高校の部」の 自分の小遣いのた

とさやお

気持ちを正直に吐露できる。 同じような悩み、不足、 「なぜ教会長子弟が素直に道を 『自分だけではな 同じような 「皆さん 不安の

> 感激して帰ってくれる。そしておぢばだからこかった』と思える。『初めて悩みを話せた』と ながら説明してくださいました。 おぢばの理を戴くことの大切さを具体例を挙げ としている教会長子弟を、元の正しい姿に戻す える。親の日々の姿に不足して道から外れよう そ、同じ班になった学生に前向きに支えてもら やはり元のぢばに帰ることである」と、

濃い話し合いが行われました。 の学生層の丹精について思うことなど、 三十年祭 講話の後、 かえりや下村先生の講話のふりかえり、 学生おぢばがえり大会」の動員のふ 行われたねりあいでは、 「教祖百 密度の



「いんねんあってこの道に引き寄せられた学生られた上で、学生層育成者としての心構えを、

立場の学生が、 通らないのか。それは教会の日々の姿に根本が 思うが、そこを打開してもらいたい」と参加者 ある。だからこそ、学修において、 に檄を飛ばし、 方は、所属や上級の会長さんに遠慮していると しくださいました。 るよう丹精していかなければならない」とお話 なんだから、生涯かけてお道に繋がってもらえ 特に教会長子弟の育成については、

「またがば」 明母人担 // フロ門/出入\\

まなひは」開催会場一覧 《/月開惟分》						
教区	開催日時	場所	担当者	電話番号		
岩手	7月9日10時~10日14時	教務支庁	権谷			
東京	7月16日14時~17日15時30分	教務支庁	牧野			

とりが生まれ、メンバー間との「繋がり」がよ

屋外という「開放感」から心にゆ

^早く深まるという点です。 「親神様のご守護

説明及び質疑応答も行いました。

屋外プログラムは、屋外で活動する機会の少

を行います。また各Act.の実習後には、

進め方

学んだことをニュ

スにしてふりかえり

のまなびばニュース」では、期間中に感じたこ

ただいたら良いか話し合います。

Act.④「私

かしもの・かりもの~」をテーマに掲げた今

自身の身体は実は親神様からお借りして

「親神様のご守護」を肌身に感じることができ

者も合わせ、計五十三名が参加しました。

十九教区と、

韓国からの受講

ただけるには、かりものの身体をどう使わせて

ふりかえりの時間で、

親神様に喜んでい

かしもの・かりもののご守護に気づいてもらい、、、、

親神様の絶え間ないご守護のありがたさ

身体の不思議に触れ、メインである「おはなし」

③「カラダダカラ」では、まずゲ

ムを通して

屋外プログラムの魅力は、

自然と接する中で

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

2 3

大学生の集い「Work&Talk」ブロック別 開催一覧

ブロック	日程	会場
北海道ブロック	未定	未定
東北ブロック	8月29日13時~30日13時	国立岩手山青少年交流の家
関東ブロック	10月15日11時~16日16時	東京教務支庁
北陸ブロック	8月27日13時~28日13時	新潟教務支庁
東海ブロック	8月28日13時~29日15時	岐美大教会(岐阜県)
中国ブロック	8月27日13時~28日15時	笠岡大教会 (岡山県)
四国ブロック	9月3日11時30分~4日15時	南阿大教会 (徳島県)
九州ブロック	8月29日13時~30日15時	福岡教務支庁

※詳細につきましては、各教区学生担当委員会までお問い合わせください。

とです。 数日後、 治っていることに気が付いた次第です。 とも、 ただいた、 全く完治した状態になりまし 自身でも本開催の期間中は痛みがあったこ 付けばそれまで数年間悩み苦しんでいた肩 を栃木教区で開催させていただいた時のこ 四年十二月に関東ブロックの「Work & Talk」 最もありがたかった出来事は、 でした)が無くなっていました。 の痛み(医師の診察や治療を受けていません そして本開催も無事に終了 や学生スタッフとともに様 それから現在まで、 開催教区として、 学生担当委員会の活動をさせてい 痛みが治っていることも忘れてい 人から肩のことを聞かれて初めて 誠にありがたい貴重な体験でした 自分自身の身上にお見せい 本番に向けて学担の方々 痛みの再発も無く、 々な準備を進め た時に、 た。学担の活 実は、 立教百七 ただい 自分 た 7

学生生徒修養会 高校の部 送迎実施一覧

「立教179年 学生生徒修養会 高校の部」において、系統を問わず受講生の送迎を行う予定の教区・直属をお知らせいたします。各教区・直属の送迎担当者の連絡先を掲載していますので、動員の上にご活用ください。

詳細につきましては各担当者と直接打ち合わせていただきますようお願いいたします。

都道府県	教区·直属	送迎担当者	連絡先
青森	青森教区	市村	
埼玉	秩父大教会	中畝	
東京	深川大教会	木村	
新潟	新潟大教会	村上	
新潟	北洋大教会	加藤	
石川	鹿島大教会	清水	
石川	石川教区	高渕	
福井	福井教区	味美	
山梨	甲府大教会	中嶋	
長野	長野教区	岡澤	
岐阜	岐美大教会	安江	
滋賀	中野大教会	丹羽	
兵庫	兵神大教会	末村	
鳥取	鳥取教区	本多	
広島	広島教区	金弘	
山口	山陽大教会	伊藤	
大分	中津大教会	香山	
宮崎	宮崎教区	中川	

Check it out!

7月10日以降、「学生生徒修養会 高校の部」の詳細、必要事項をTSA websiteにアップします。是非ご活用ください。 http://tsa.tenrikyo.or.jp

例会」を開催。

出席は43教区、

140直属。

小

南部

5

月 22

報 去る5月25日、第38母屋に於いて「五月

五月例会

告

· 高 知 【直属】 東京 山口 石川 月 3 月 月 月 2 日 10 2 日 Ħ 日

16

時 時 時

10 13

11 時 30

分

日 程 ・ 層 教区 会場案内の音音成者講習会

錦

江

松

月 6

七月例 · 期 日 場所 時間 立 教 179 年 7 東右第4棟4階講堂 15時半受付 · 月 25 16時開:

Ħ

立教179年6月25日

知 会 ら せ

お

各地の動き

周海分教会 教務支庁 教務支庁 教務支庁

Н

大教会 東

月

22 日

12 時 15

分

濃 海 紀 東 月 22 月 月 月 22 22 21

Н

大教会 120 名 大教会 150 年 大教会 150 150 大教会 大教会 大教会 大教会 吉川

Н

入教会 120 茶谷委員出向 茶谷委員出向 200 名 清水委員出 云 7 季 員 出 向 名 名 名 向

【直属学生層育成者講習会】 日本橋 5 月 2 日 月 6 大教会

【教区学生層育成者講習会】 教務支庁

広島

5月1日

吉川委員長出向 95 名

Heppistelf 予告

菌力增強月間

インタビュー

神戸大学大学院農学研究科准教授 佐伯 圭一

連載

※内容は一部変更になる場合があります。

- 明日を展くをやの言葉 佐藤 浩司 (天理大学名誉教授)
- 明日の地図ひろげて 山本 佐登美 (婦人会本部委員)

Key Person 元競泳五輪選手 中村 礼子

·人生を彩る1冊をあなたに。 虹色のしおり 上田 和子 (浪華分教会教人)



個人宅に直接〈Happist〉が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

教祖130年祭 こどもおぢばがえり 学生ひのきしん隊

陽光やわらかくふりそそぎ、こどもおぢばがえりの季節が近づいてきました。

さて、本年は7月25日から8月6日まで、こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊を結 成します。学生ひのきしん隊では、全国各地からおぢばへ帰ってくる子どもたちの受け入 れひのきしんをさせていただきます。子どもたちに少しでも喜んでもらえるようにつとめ させていただきますので、一人でも多くの学生に呼びかけをしていただきますよう、よろ しくお願いいたします。

≪ 募 集 要 項 ≫

的】 ぢばへの伏せこみ

【内 わかぎおぢばひのきしんカウンセラー、廻廊ひのきしん受け入れなど 容】

【対 象】 高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生

【期 間】 7月25日(月)~7月31日(日)

7月30日(土)~8月6日(土)

特別期間 7月29日(金)~8月1日(月)

※ 前期・後期に参加できない方は特別期間を設けておりますので、 そちらにご参加ください。

【受付時間】 前期・後期・特別期間とも13時(予定)

【解散時間】 午前11時、後期 13時、特別期間 17時(いずれも予定)

【募集定員】 70名、後期 70名、特別期間 50名

【参加費】 前期·後期·特別期間 1,000円、全期間 2,000円

※ いずれも当日お持ちください。

舎】 旧大森町詰所 【宿

天理教学生会 【主 催】

【後 援】 天理教学生担当委員会

≪申し込み・問い合わせ先≫

天理市守目堂町213-4 おやさとやかた真南棟3階 天理教学生会

〒 632-8790 日本郵便天理支店私書箱1号 天理教学生会

(電話) 0743-63-1511 (内線5820)

※ 17時30分以降は0743-63-2489 (学生担当委員会)

(FAX) 0743-62-5780

○ 詳しくは、天理教学生会 website に掲載しておりますので、そちらを御覧ください。 website URL: http://tsa.tenrikyo.or.jp